

## Implementing Cisco Collaboration Core Technologies v1.0 (350-801)

**試験概要:** Implementing Cisco Collaboration Core Technologies v1.0 (CLCOR 350-801) は、CCNP および CCIE Collaboration 認定に関する試験であり、試験時間は 120 分です。この試験では、インフラストラクチャーおよびデザイン、プロトコル、コーデック、エンドポイント、Cisco IOS XE ゲートウェイとメディア リソース、コール コントロール、QoS、およびコラボレーション アプリケーションなど、コア コラボレーションの実装に関する受験者の知識が問われます。本試験の受験対策として、Implementing Cisco Collaboration Core Technologies コースの受講をお勧めします。

次に、この試験の一般的な出題内容を示します。ただし、試験によっては、ここに示されていない関連項目も出題される場合があります。試験内容をより適切に反映し、明確にするために、次のガイドラインは予告なく変更されることがあります。

- 20%    1.0    **インフラストラクチャーおよびデザイン**
  - 1.1    SRND で定義されている Cisco Collaboration アーキテクチャの主要な設計要素の説明
    - 1.1.a    ライセンシング (スマート、フレックス)
    - 1.1.b    サイジング
    - 1.1.c    帯域幅
    - 1.1.d    ハイアベイラビリティ
    - 1.1.e    ディザスタリカバリ
    - 1.1.f    ダイアル プラン
    - 1.1.g    セキュリティ (証明書、SRTP、TLS)
    - 1.1.h    QoS
  - 1.2    Expressway、Cisco Unified Border Element など、Cisco Collaboration アーキテクチャにおけるエッジ デバイスの目的の説明
  - 1.3    Cisco Collaboration ソリューションをサポートするネットワーク コンポーネントの構成
    - 1.3.a    DHCP
    - 1.3.b    NTP
    - 1.3.c    CDP
    - 1.3.d    LLDP
    - 1.3.e    LDAP
    - 1.3.f    TFTP
    - 1.3.g    証明書
  - 1.4    Cisco Collaboration ソリューションのネットワーク コンポーネントのトラブルシューティング
    - 1.4.a    DNS (A/AAA、SRV、PTR レコード (逆引きのためのレコード))
    - 1.4.b    NTP
    - 1.4.c    Cisco Unified Communications Manager での LDAP の統合

- 1.5 Cisco Collaboration ソリューションをサポートする各コンポーネントの説明
  - 1.5.a SNMP
  - 1.5.b DNS
  
- 20%** **2.0** **プロトコル、コーデック、および エンドポイント**
  - 2.1 SIP 会話の各要素のトラブルシューティング
    - 2.1.a コールのセットアップとティア ダウン
    - 2.1.b SDP
    - 2.1.c DTMF
  
  - 2.2 指定されたシナリオに最適なコラボレーション コーデックの特定
  
  - 2.3 コーデック ネゴシエーションの構成
  
  - 2.4 SIP エンドポイントの導入
    - 2.4.a 手動
    - 2.4.b セルフプロビジョニング
    - 2.4.c バルクアドミニストレーション ツール (BAT)
  
  - 2.5 コラボレーション エンドポイントのトラブルシューティング
  
- 15%** **3.0** **Cisco IOS XE ゲートウェイとメディア リソース**
  - 3.1 ボイス ゲートウェイの各要素の構成
    - 3.1.a DTMF
    - 3.1.b ボイス トランスレーション ルール および プロファイル
    - 3.1.c 優先コーデックの リスト
    - 3.1.d ダイアルピア
  
  - 3.2 ISDN PRI/BRI の構成
  
  - 3.3 ISDN PRI/BRI のトラブルシューティング
  
  - 3.4 MGCP の構成および確認
  
  - 3.5 指定されたシナリオに最適なメディア リソースの特定 (ハードウェアおよびソフトウェア)
  
- 25%** **4.0** **コール コントロール**
  - 4.1 Cisco Unified Communications Manager の番号分析プロセスの説明
  
  - 4.2 Cisco Unified CM での電話ハッカー侵入防止の実装
  
  - 4.3 Cisco Unified CM でのグローバル化されたコール ルーティングの構成
    - 4.3.a ルート パターン (従来からの形式および +E.164 形式)
    - 4.3.b トランスレーション パターン
    - 4.3.c 標準ローカル ルート グループ
    - 4.3.d トランスフォーム
    - 4.3.e SIP ルート パターン

- 4.4 Mobile and Remote Access (MRA) の説明
- 10% 5.0 QoS**
  - 5.1 音声およびビデオの品質を低下させる可能性のある問題の説明
    - 5.1.a レイテンシ
    - 5.1.b ジッタ
    - 5.1.c パケット損失
    - 5.1.d 帯域幅
  - 5.2 それぞれのアプリケーションタイプ(音声およびビデオ)における QoS 要件の説明
  - 5.3 ネットワーク上で QoS を提供するためのクラス モデルの説明
    - 5.3.a 4/5 クラス モデル
    - 5.3.b 8 クラス モデル
    - 5.3.c QoS ベースライン モデル(11 クラス)
  - 5.4 コラボレーションにおける DiffServ 値の目的と機能の説明
    - 5.4.a EF
    - 5.4.b AF41
    - 5.4.c AF42
    - 5.4.d CS3
    - 5.4.e CS4
  - 5.5 LAN ベースの分類およびマーキングにおける QoS の信頼境界線とその重要性に関する説明
  - 5.6 ロケーションベースの CAC 帯域幅の要件の説明および決定
  - 5.7 LLQ(クラス マップ、ポリシー マップ、サービス ポリシー)の構成および確認
- 10% 6.0 コラボレーション アプリケーション**
  - 6.1 Cisco Unity Connection でのメールボックスおよび MWI の構成
  - 6.2 Cisco Unity Connection でのコールコントロールへの SIP 統合オプションの構成
  - 6.3 Cisco Unity Connection のコールハンドラの説明
  - 6.4 Cisco Unified IM&P のプロトコルおよび展開についての説明
    - 6.4.a XMPP
    - 6.4.b ハイアベイラビリティ
  - 6.5 Cisco Jabber のオンプレミス展開